



りぶ・らぶ・あにまるず シンポジウム 2013

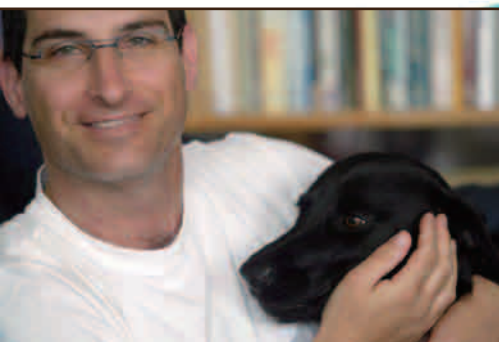
PTSD とアニマルセラピー ～その可能性を探る

— アロン・ワッサーマン氏をお招きして —

Live Love Animals Symposium 2013 – PTSD and Animal Therapy –
Explore its Potentials with Dr. Alon Wasserman

アロン・ワッサーマン氏は、イスラエルのテルアビブで活躍しておられる心理療法士です。イスラエルでは、地域の事情から、PTSD に苦しむ方も多く、ワッサーマン氏は、「PTSD に対するアニマルセラピー」を行い、イスラエルの大学で「心理医療現場に関わる人へのアニマルセラピー講座」を開かれています。今回、ワッサーマン氏が来日され、各地でご講演をされることとなりました。

阪神・淡路大震災を経験し、PTSD についての課題を持つ神戸に於いても、ワッサーマン氏よりイスラエルの事例を学び、日本に於ける PTSD についての動物達の関わりの可能性について、皆様と考察を深め、今後の在り方に付いて歩みを進める契機と致したいと思います。



プロフィール

アロン・ワッサーマン氏
Dr. Alon Wasserman

イスラエルのリハビリ臨床心理士 (PhD) であり、神経心理学者であり、動物介在セラピストである。彼は学生たちに指導するとともに、多分野のセラピストに実習を行っている。彼の興味はメンタルヘルスに対する動物の治療効果であり、それは 2000 年に PTSD と頭部外傷青年たちへの治療から始まった。それ以来、長年に渡って、対象となる患者層は広がっている。その経験を活かし、講義やセミナーを世界的に行い、イスラエルでは様々な学術機関で教えている。テルアビブのレブンスキー大学が彼の拠点である。イスラエル AAT 誌である「動物と社会」の編集委員でもある。日本でのレクチャーの中心となるのは、一般的な動物・特に犬を補助とした、成人・小児への PTSD に対する治療的実践である。ワッサーマン博士には、イスラエルや世界における AAT や AAE の組織的・社会的・経済的側面をご講義していただく予定である。

講演

アロン・ワッサーマン氏

* 逐次通訳：津田 望氏

山口 修喜氏

海野 千畝子氏

パネル ディスカッション

司会 横山 章光氏

パネリスト
アロン・ワッサーマン氏
山口 修喜氏
海野 千畝子氏

主催 ヒトと動物の関係学会／日本総合的セラピー研究会／公益社団法人 Knots

協賛 ネスレ日本株式会社 ネスレピュリナ ペットケア

協力 国立大学法人 兵庫教育大学

後援 外務省／イスラエル大使館／兵庫県／神戸市／社団法人 兵庫県獣医師会／公益社団法人 神戸市獣医師会／一般社団法人 兵庫県医師会／神戸市医師会／日本動物高度医療センター

2013 年

6 月 23 日 (日)

兵庫県民会館
福の間

13 時 30 分開場
14 時開演

入場
無料

《プログラム》

13:30 開場

14:00 開演 主催者挨拶

14:10 山口 修喜氏ご講演
(カウンセリングオフィス POMU 主宰)

14:55 休憩

15:00 アローン・ワッサーマン氏ご講演
* 逐次通訳: 津田 望氏 (のぞみ牧場学園)

16:30 休憩

16:40 海野 千畝子氏ご講演 (兵庫教育大学 人間発達教育専攻 准教授)

17:25 休憩

17:40 パネルディスカッション

司会: 横山 章光 氏 (帝京科学大学 / 精神科医)

パネリスト: アローン・ワッサーマン氏 (通訳: 津田 望氏) /
山口 修喜氏 / 海野 千畝子氏

18:30 終了



※ JR / 阪神「元町駅」から徒歩7分
地下鉄「県庁前」東1・2出口すぐ



日本側演者プロフィール



◎ 山口 修喜 (やまぐちのぶき) 氏

サイモンフレイザー大学 (カナダ) で心理学を学ぶ。同大学で修士号取得 (カウンセリング心理学)。
ブリティッシュコロンビア州の公認心理カウンセラーとなる。
性被害を受けた男性の支援センターでカウンセリングを経験
2011 年カナダより帰国
神戸で男性サバイバーのためのカウンセリングオフィス Pomu を立ち上げる。カナダのエドモントンで AAT の研修を受け、サバイバーと AAT を行っている。



◎ 海野 千畝子 (うんのちほこ) 氏

兵庫教育大学 人間発達教育専攻 臨床心理学コース 准教授
静岡大学大学院教育学専攻 修了
静岡県の公立学校で養護教諭として 10 年間勤務後、臨床心理士の資格をとり、静岡県総合教育センター、あいち小児保健医療総合センターにて、こども虐待対応臨床に従事、2010 年より現職に至る。
専門はこども虐待対応臨床、現在の研究は、被虐待児童への愛着形成を目的とした動物介在療法の研究を実践している。



◎ 横山 章光 (よこやま あきみつ) 氏

帝京科学大学生命環境学部アニマルサイエンス学科准教授。精神科医 (精神保健指定医、精神科専門医)。産業医科大卒。共済立川病院、神奈川県大和市立病院、防衛医科大学校を経て 2005 年から現職。動物やロボットを医療に取り入れる研究・活動を行なっている。前ヒトと動物の関係学会事務局長。人間と動物の心理的関係についての論文多数。著書に「アニマルセラピーとは何か」(NHK出版) など、訳書にフランク・アシオーン著「子どもが動物をいじめるとき: 動物虐待の心理学」(ビーイング・ネット・プレス社)、ゲイル・メルスン著「動物と子どもの関係学: 発達心理からみた動物の意味」(ビーイング・ネット・プレス社)、監修にアラン・ベック他著「あなたがペットと生きる理由—人と動物の共生の科学」(ペットライフ社)、メロビー・パブリデス著「自閉症のある人のアニマルセラピー」(明石書店) がある。



◎ 津田 望 (つだのぞみ) 氏

英国ロンドン市大学大学院修士ディプロマ修了、臨床言語伝達学専攻。同年、「全英圏臨床言語士資格 (M.R.C.S.L.T)」取得、臨床言語士。
獨協大学講師、旭出学園教育研究所、瀬川神経学クリニック、のぞみ発達クリニックを経て、現在、社会福祉法人のゆり会の理事長、及び、きさらづ小児発達センター「のぞみ牧場学園」の副施設長、のぞみ療育グループ代表